

# 「地方創生」を考える 高等学校国語科における授業方法の開発と実践

— 地域経済分析システム RESAS の活用 —

国語科 岡 かなえ

本校は、文部科学省2014年度「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」事業で研究開発校に指定され、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」という構想での5年間の研究開発を行い、グローバル人材の育成に向けて地域課題研究、異文化研究、グローバル提案、グローバル・キャリアパスという一貫した課題研究カリキュラムを実践することにより、生徒の資質・能力向上に努め、一定の成果を挙げるに至った。そして今年度（2019年度）より、新たに文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業における拠点校に指定され、「持続可能な世界を実現し、Society 5.0を牽引するグローバル・リーダーの育成」という構想で研究開発を行っている。この構想においては、金沢大学が核となり、北陸圏域における高校生へ高度な学びを展開するものとなっている。

今回は、この構想のプログラムにある地域課題研究の内容が国語科の授業とどのようにつながることが可能であるか、実践した内容を示すと共に、また、地域課題研究の目的の一つでもある「地方創生」の内容を国語科の授業の中でどのように行うことが可能であるかについて、地域経済分析システム RESAS を用いた授業を提案する。

キーワード：地方創生 RESAS WWL

## 1. はじめに

現在、急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。こうした資質・能力の育成に向け、新学習指導要領では「現代の国語」と「論理国語」に「情報の扱い方に関する事項」が新設された。また、現行の学習指導要領から引き継ぎ設けられた「国語表現」は、実社会において必要となる、他者との多様な関わりの中で伝え合う力の育成が、より重視されたものとなっている。

なお、本校では総合的な探究の時間の中で地域課題研究が位置付けられており、地方創生について考え、提案する学習を行っている。

本稿においては、まず、「地方創生から学ぶ」というタイトルで、国語表現の授業を提案する。なお、その際に扱う情報として、地域経済分析システム RESAS を用いる。これは、RESAS が地域の現状や動向を知るためのツールとして適していると考えられるからである。次に、総合的な学習の時間（地域課題研究）での国語科の要素の部分として該当すると考えられる部分について、「地方創生について学ぶ」というタイトルで記す。

## 2. 「地方創生から学ぶ」

### 国語（国語表現）の授業の提案

#### (1) 全体計画

「北陸新幹線開通前と開通後のデータ等から石川県の変化を読みとり、石川県は北陸新幹線が開通したことで以前よりも暮らしやすくなったという考えに賛成または反対の意見を書く」という単元を設定する。

1 時間目	複数のデータから石川県の変容を読み取り、賛成・反対それぞれの意見の根拠となるデータを整理する。
2 時間目	自分の立場(賛成か反対か)を決め、その考えに説得力をも達せるための根拠と文章の構成を考え、意見文を書く。

#### (2) RESASの活用マップ例

観光マップ、雇用/医療・福祉マップ

#### (3) 略案

##### 1 時間目

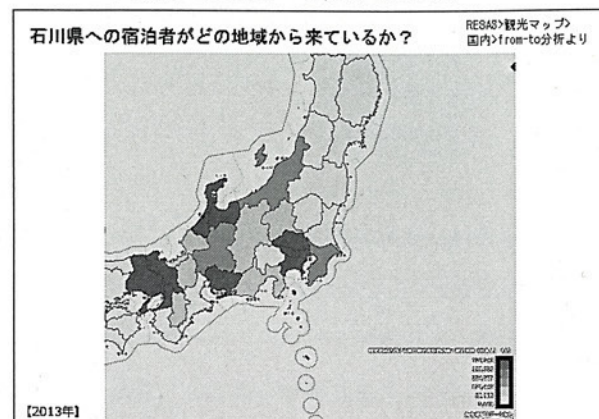
時間	内 容	留意事項
2 5 分	複数のデータ（観光客増加・地価の高騰など）から、石川県の変化を読み取る。	RESASなどのデータを活用 個人→共有
2 5 分	賛成の場合、反対の場合それぞれのその根拠を整理する。	バタフライチャート

##### 2 時間目

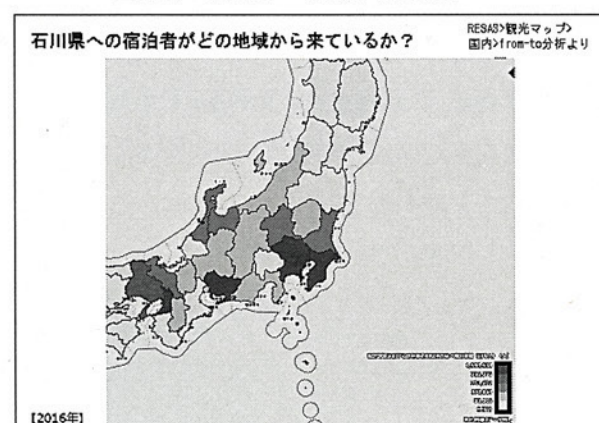
時間	内 容	留意事項
1 5 分	意見文を書く際の構成を考える。意見と根拠となるデータを文章でつなぐ。（理由づけ）	構成メモ
3 5 分	説得力のある意見文を書く。	原稿用紙の使い方

#### (4) 使用するデータ例

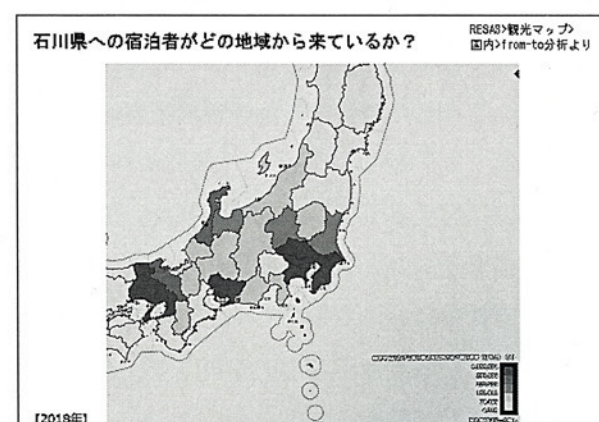
データ①2013年に、石川県への宿泊者がどの地域から来ているか（RESAS＞観光マップ＞国内＞from-to分析より）



データ②2016年に、石川県への宿泊者がどの地域から来ているか（RESAS＞観光マップ＞国内＞from-to分析より）



データ③2018年に、石川県への宿泊者がどの地域から来ているか（RESAS＞観光マップ＞国内＞from-to分析より）



[illegible]

石川県のどこを目的地として検索しているか

石川県  
2018年  
(手段) 自転車

目的地 (Destination)	件数 (Number of Searches)
金沢市 (Kanazawa City)	5,000
石川県庁 (Ishikawa Prefectural Office)	4,800
金沢市立金沢博物館 (Kanazawa Museum of Modern Art)	4,500
金沢市立歴史民俗資料館 (Kanazawa Museum of Folklore and Ethnology)	4,300
金沢市立文学館 (Kanazawa Museum of Literature)	4,100
金沢市立美術館 (Kanazawa Museum of Art)	3,800
金沢市立音楽ホール (Kanazawa Music Hall)	3,500
金沢市立図書館 (Kanazawa City Library)	3,200
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	3,000
金沢市立体育館 (Kanazawa City Gymnasium)	2,800
金沢市立総合体育館 (Kanazawa City Comprehensive Gymnasium)	2,600
金沢市立市民体育館 (Kanazawa City Sports Gymnasium)	2,400
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	2,200
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	2,000
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	1,800
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	1,600
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	1,400
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	1,200
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	1,000
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	800
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	600
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	400
金沢市立市民会館 (Kanazawa City Convention Hall)	200

石川県と近隣県の一人当たり賃金の変化

REGAS>雇用/医療・福祉>  
一人当たりの賃金より

Year	東京 (Tokyo)	大阪 (Osaka)	千葉 (Chiba)	石川県 (Ishikawa)
2010年	428	385	382	380
2011年	435	395	388	382
2012年	435	395	390	382
2013年	430	395	385	382
2014年	440	415	400	390
2015年	450	415	405	395
2016年	450	410	415	400
2017年	455	415	405	405
2018年	460	418	400	405

1. 複数のデータから石川県の産容を読み取り、賛成・反対それぞれの意見の根拠となるデータを整理する。

- 国語科におけるRESAS活用の方法としては、①「情報を的確に読み取り（複数でも一つでも、文章でもグラフでも表でも図でも良い。）、そこから何が分かるかを考え、その内容を他者に効果的に伝える学習活動の中の、“情報”として用いる。」、②「主張がある場合に、その主張に説得力を持たせるため

の根拠として情報を探し、その情報が適切であるかを吟味する学習活動の中の「情報」として用いる。」などが考えられる。

情報を提示する数も、生徒のレベル及び学習の目的に応じて調整していくことも必要になる。

### 3. 「地方創生について学ぶ」

総合的な学習の授業の時間の中での国語科の関わり方の提案

#### (1) 全体計画

総合的な学習の時間の中での取り組みとして、「地方創生について学ぶ」という単元を設定する。

#### (2) RESASの活用マップ例

1時間目	地方創生について、データの読み取り
2時間目	りや取材を通して情報を収集する。
3時間目	地方創生について調べたこと、学んだこと、考えたことを相手に伝える。
4時間目	

人口マップ → 人口の自然増減、人口の社会増減  
産業構造マップ、観光マップ

まちづくりマップ → 滞在人口率、通勤通学人口  
雇用／医療・福祉マップ

→ 一人当たり賃金、医療需給

#### (3) 略案

1時間目

2時間目

時間	内 容	留意事項
30分	地域の現状と課題について、情報収集を行う。その際、重要度や信頼度により、情報を取捨選択する。	RESAS・自治体HP、広報パンフレットなどを活用
20分	取材の準備を行う。目的、対象者などを明確にして質問事項をまとめる。	質問シート

#### (4) 使用するスライド

時間	内 容	留意事項
25分	電話をかけたり、依頼文を書いたりするなどし、取材先の相手と連絡をとる。	電話での話し方・依頼文の書き方
25分	取材の練習をする。	言葉遣い

\* 2時間目と3時間目の間に、各自取材を行う。

#### 3時間目

25分	取材した内容を、発表、整理し、地方創生について班で考えをまとめる。	KJ法
25分	プレゼンテーションソフトを用いて、発表準備を行う。	グラフ・表・動画の使用

#### 4時間目

40分	地方創生について班で発表する。(1班5分)	評価表
10分	自己の考えの変容を振り返る。	振り返りシート

スライド①インターネットなどを用いて地域を調べてみよう

自分の住んでいる地域の現状と課題について、RESASや自治体HP、広報パンフレットを活用してについて調べる。

#### 1. 地域を知る

①自分の住んでいる地域について調べよう。

RESAS・自治体HP、広報パンフレットなどを活用して調べてみよう。

(地域の現状)

(地域の課題)

スライド②自分の住んでいる地域を取材するための準備をしよう

取材をする目的、対象者などを明確にして、質問シートに質問事項をまとめる。

### 1. 地域を知る

②自分の住んでいる地域で取材をしてみよう。(取材の準備)

取材する目的、対象者などを明確にして質問事項をまとめよう。


質問シートに

- ・疑問に思ったこと
- ・データを見て気づいた問題点
- ・自分の仮説が正しいかどうか?
- ・地域の方が実際に住んでいて感じていることなどを質問内容としてまとめて書いてみよう。

スライド③自分の住んでいる地域を取材するための準備・練習をしよう

電話での話し方を学ぶ。

### 1. 地域を知る

②自分の住んでいる地域で取材をしてみよう。(取材の練習)

電話をかけた後、依頼文を書いたりして、取材先の相手と連絡をとる。

<電話による取材>

(1) 先に電話をかける

① (自己紹介・挨拶・要件の概要)

「わたくし、〇〇高校〇年の〇〇と申します。突然のお電話を失礼いたします。このたび、御社を取材させていただきたいと思い、お電話いたしました。お時間よろしいでしょうか?」

② (要件の詳細)

「本校では、総合的な学習の時間という授業のなかで、地域課題研究というものに取り組んでおります。

私たちの班では〇〇というテーマで研究を行っており、ぜひ、御社の担当の方に直接お会いして話をうかがえればと思っております。担当の方はいらっしゃいますでしょうか?」

スライド④自分の住んでいる地域を取材しよう

電話で日程調整をする。

大人と丁寧に会話をします。

### 1. 地域を知る

②自分の住んでいる地域で取材をしてみよう。(取材の練習)

・担当者に代わったら...

「わたくし、〇〇高校1年の〇〇と申します。突然のお電話を失礼いたします。このたび、御社を取材させていただきたいと思い、お電話いたしました。(問)本校では、総合的な学習の時間という授業のなかで、地域課題研究というものに取り組んでおります。私たちの班では〇〇というテーマで研究を行っており、ぜひ、御社の担当の方と直接お会いして話をうかがいたく思っております。取材をさせていただくことは可能でしょうか?(問)」

【注】取材内容について詳しく聞かれる場合があるので、きちんと準備しておく。

・取材が許可されたら...訪問する日と時間を決める。

【注1】相手の都合に合わせて。目上の方の提案したものに、「無理です」というのは大変失礼。

・班員全員が取材に行けなくてもよい。場合によっては、先方の都合を聞いたうえで、一旦電話を切り、班員の都合を確認してから再度電話をするという方法もある。

・取材の日程が決まったら...校長名で訪問依頼書を出すので、その旨も伝える。

スライド⑤自分の住んでいる地域を取材しよう

話の聞き方、話し方を学ぶ。

### 1. 地域を知る

②自分の住んでいる地域で取材をしてみよう。(取材の実施)

★相手の話を聞くときのポイント★

- ①相手の顔を見て、話を聞く。
- ②相手の話に反応する。(うなづく、あいづちをうつ、相手の言葉を繰り返す、表情を変える など各々調べてください)
- ③相手が話している途中で口を挟まない。
- ④否定的なことを言わない。

★相手と話をするときのポイント★

- ①笑顔でいる。(口角をあげるよう意識する。)
- ②笑顔の状態を、相手の顔を見て話をし、話を聞く。にらまない。7割見つめ、3割はずす。
- ③はっきりと話す。日時はゆっくり話す。
- ④メモを取りながら話す。
- ⑤相手の言葉が聞き取れなかったときは、丁寧に聞き直す。
- ⑥話しかける前に、練習をする。

スライド⑥取材のお礼状を書こう

お礼状の書き方を学ぶ。

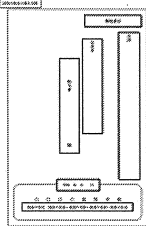
### 1. 地域を知る

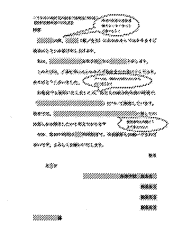
②自分の住んでいる地域で取材をしてみよう。(取材の練習)

(2) 取材までの取り組み

② 取材承諾のお礼状作成→送付

お礼状をワークシートを参考に作成する。封筒についても同様に作成する。





スライド⑦取材した内容を整理しよう

まずは、取材した内容を付箋に書き出す。

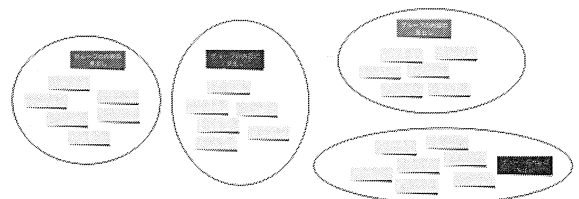
次に書き出した内容を、関連性のあるものごとに近くに集める。最後に、それぞれのまとまりごとの内容を簡潔に表す見出しをつける。

## 2. 地方創生を考える

### ①取材した内容を整理する。

- ・取材した内容を付箋に書き出す
- (このとき、長い文章は短い見出しにまとめる)

- ・書き出した内容をテーマごとに関連性のある付箋を近くに集めます。最後に、それぞれのグループの内容を簡潔に表す見出しをつけていきます。





スライド⑧発表の準備をしよう

まずは、プレゼンテーションソフトなどを用いて、インパクトのある短い言葉を用いて分かりやすいスライドを作成する。次に、スライドに併せて台本を作る。

### 2. 地方創生を考える

②発表の準備をする

1. プレゼンテーションソフト（PowerPointなど）を用いてスライドを作ろう。  
プレゼン時間 1 班 5 分  
スライド資料はインパクトのある短い言葉で！

2. スライドに合わせてプレゼンテーションの台本を作ろう  
聞く側が理解できる、伝わるために！を心がけて！

タイトル

地区の情報

取材の内容（写真・データ）

わかったこと

まとめ（地方創生への考え・思い）

伝えたい情報に合わせてページを増やす

スライド⑨発表しよう

1 班 5 分で発表する。その後、自己の考えの変容を振り返る。

### 3. 地方創生を伝えよう

①班で発表する  
プレゼン時間 1 班 5 分

②振り返り  
自己の考えの変容を振り返る。  
この授業の前と今では、地域についてどのように考え方が変わったかまとめてみよう。

#### (5) RESAS の活用

総合的な学習の時間における RESAS の活用の方法としては、地域調査の際に、その地域の地層文化や地域的特性を調べ、課題を発見する際の信用できるデータとして用いることが考えられる。なお、本校の取り組みの中でも、RESAS を活用したことで、生徒たちは目的に応じてデータを活用し、プレゼンテーションの場面においてもデータを提示するなど、説得力のある提案ができるようになった。また RESAS を用いることが必須となっている

「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に入選したことも、生徒の大きな自信となっている。

#### 4. おわりに

今回、「地方創生を考える」ということをテーマにして、地域経済分析システム RESAS を活用した授業実践及び授業内容の提案について記してきた。これは、新学習指導要領での「情報の扱い方に関する事項」が新設されたことと、地方に暮らす者として、地方創生について考える必要があるのではないかと切に感じているからである。

今後、大学入試改革に伴い、高等学校での授業の在り方も変化していくと思われる。その際、新たな大学入試対策の授業に安易にシフトするのではなく、常に生徒の現状及び生徒の将来、そして社会の動向を見て授業をつくっていくことが大切であると思われる。